※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）ソルフェージュ基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	コールユーブンゲン・コンコーネ・イタリア歌曲集等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ソルフェージュは、音楽表現に必要不可欠です。ソルフェージュを学び、音楽を表現するための基礎的な知識や技能を身に付け、個々の演奏技術そして表現力の向上に役立ててください。

2　学習の到達目標

ソルフェージュに関する学習を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、専門的な音楽に関する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）視唱・試奏及び聴音に関する基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。

（2）音楽を形づくっている要素の働きやその効果などに関する基礎的な思考力、判断力、表現力等を育成する。

（3）音楽性豊かな表現をするための基礎となる学習を大切にする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもっている。	主体的に学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
通年	音楽を表現するための基礎的な技能を伸ばそう	＜視唱･試奏＞ ･ｺｰﾙﾕｰﾌﾟﾝｹﾞﾝ ･リズム課題	a:音楽を形づくっている要素と音楽の構造との関わりを理解し、演奏する技能を身に付けている。 a:曲にふさわしい発声､身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ
		＜聴音＞ ･単旋律 ･複旋律 ･三声体和声 ･四声体和声	a:音楽を形づくっている要素と音楽の構造との関わりを理解し、聴取する技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように聴取するかについて表現意図をもっている。 c:主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ
		＜歌唱＞ ･コンコーネ ･イタリア古典歌曲 ･日本歌曲	a:曲想と音楽の構造や歌詞，文化的･歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。 a:曲にふさわしい発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的に学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ
		＜音楽理論＞ ･楽典	a:音楽を形づくっている要素を生かして表現したいことを伝えるための基礎的な知識を身につけている。 b:音楽を形づくっている個々の要素を結びつけて考え､各要素がどのように関連しているか判断し､表現の工夫と結びつけて考えることができる。 c:主体的に学習活動 に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 演奏の聴取 ﾜｰｸｼｰﾄ	観察 ﾜｰｸｼｰﾄ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度